

# 実践紹介2：足りなければ自分で作る！ やりたい授業と読み物作成

多読実践セミナー — 多読の授業と多読の要素を取り入れた授業の実践 —

2023年1月29日

開智国際大学 二口和紀子

# 発表の流れ

1. 読み物作成に至った経緯
2. 作成した読み物とその実践例①【読解授業】
3. 作成した読み物とその実践例②【キャリア授業】
4. 読み物作成の手順
5. 読み物作成の手順例①「地球にやさしい食べ物」
6. 読み物作成の手順例②「生きる力」
7. まとめ

# 1. 読み物作成に至った経緯

- ☑ 多読の授業用：読み物拡充のため
- ☑ 多読以外の授業用：授業でサラッと読ませられる補助教材のため
- ☑ 精読、説明いらない⇒時間を有効活用して、関連する内容の知識を増やす、興味関心を広げる

# 1. 読み物作成に至った経緯

- ☑ (少しずつでも) 読解力を上げる
- ☑ たくさん読んで読むことに慣れる
- ☑ 動画を使わない⇒読む量を増やす
- ☑ 多読⇒コントロールされた読みやすい日本語  
教師の説明なく  
速めのスピード  
たくさん読む

# 1. 読み物作成に至った経緯

- ☑ 多読の10のポイント (Day & Bamford 1998)
- ☑ 1. たくさん読む。教室内・外の両方。
- ☑ 2. 幅広い話題の本が準備されている。それぞれの学習者の読み方や読む理由に対応し、動機付けを維持するため。
- ☑ 3. 自分で読みたい本を選んで読む。興味のないものは途中でやめる自由もある。
- ☑ 4. 楽しみや興味関心、教養のために読む。読む目的は、読む素材の特性や、学習者の関心によって決まる。
- ☑ 5. 読むこと自体が報酬。読後の問いは（ほとんど）ない。

# 1. 読み物作成に至った経緯

- ☑ 6. 読み物は、学習者の語彙、文法能力の範囲内におさまっている。辞書はできるだけ使わない。なぜなら、辞書を使うと流ちょうな読みができなくなるから。
- ☑ 7. 一人で静かに自分のペースで読む。教室外の場合は、自分の好きな場所で読む。
- ☑ 8. 読むスピードは少し速い。理解しやすい読み物を読むことで、速く読める。
- ☑ 9. 教師は学習者が多読授業を最大限に活用できるように、授業のゴールや多読の方法を十分に説明し、学習者の読みを記録し、学習者の読みを助ける。
- ☑ 10. 教師が読み手のモデルになる。それは、リーディングコミュニティにおける読み手であり、読み手であることの意味と、それで得られる報酬を示す。

## 2. 作成した読み物とその実践例①

### 【読解授業】

- ☑ 授業概要：読解（精読、多読、音読、速読、粗読）
- ☑ 受講生：N2レベル留学生20人（1年生）
- ☑ テーマ：地球温暖化を扱う読み物
- ☑ 順番：読み物作成⇒授業で使用
- ☑ 読み物：「ヤギの色々な使い方」「地球にやさしい食べ物」
- ☑ 実践概要：テキスト精読75分＋読み物2作多読＋話し合い15分（地球温暖化対策を身近に捉える）

# 3. 作成した読み物とその実践例②

## 【キャリア授業】

- ☑ 授業概要：キャリア教育
- ☑ 受講生：N2レベル留学生5人（2年生）
- ☑ テーマ：自分史・キャリアパスを描く
- ☑ 順番：授業を実施⇒読み物作成
- ☑ 読み物：「生きる力」
- ☑ 実践予定：自分史・キャリアパス作成75分＋読み物1作多読＋話し合い15分（失敗、挫折を乗り越える力が必要）



## 4. 読み物作成の手順

- ☑ 使用範囲：自分が担当する授業内
- ☑ 対象：自分が教えている学生
- ☑ 検討事項：読み物の内容面＋言語面

## 4. 読み物作成の手順

- ☑ ①インスピレーションを得る（テレビ、SNS、本、雑談、旅行）
- ☑ ②情報収集【内容を膨らませる】
- ☑ ③N3レベルに設定して書き始める【言語のコントロール】
- ☑ ※語彙・文型リストなし
- ☑ ※気になる箇所のみ、jReadability、リーディングチュウ太で確認
- ☑ ④校正【個人ワーク】内容、表現を確認
- ☑ 校正【グループワーク】内容、表現のアドバイス
- ☑ ⑤最終修正
- ☑ ⑥完成

# 5. 読み物作成の手順例①

## 「地球にやさしい食べ物」

- ☑ ① 昆虫食に関するニュースを見る
- ☑ ② 昆虫食の自販機発見、写真撮影
- ☑ ③ 昆虫食について情報収集（昆虫食が注目されている理由、地球温暖化との関連性、歴史など）
- ☑ ※なるべく多くの情報を探す
- ☑ ※写真、イラストを入れる
- ☑ ④ 書き始める
- ☑ ⑤ 校正
- ☑ ⑥ 最終修正
- ☑ ⑦ 完成

## 6. 読み物作成の手順例②

### 「生きる力」

- ☑ ①甲子園に関するニュースを見る
- ☑ ②斎藤祐樹氏について情報収集（甲子園での活躍、野球人生、現在の仕事など）
- ☑ ※自分に関連する情報を入れる
- ☑ ※関係する読み物を紹介する
- ☑ ③書き始める
- ☑ ④校正
- ☑ ⑤最終修正
- ☑ ⑥完成

# 7. まとめ

## ☑ 学生

- ☑ (少しずつでも) 読解力を上げる
- ☑ たくさん読んで読むことに慣れる
- ☑ 多読⇒たくさん読む

## ☑ 教師

- ☑ (少しずつでも) 文章力を上げる
- ☑ たくさん書いて書くことに慣れる
- ☑ 多書⇒たくさん書く

## 7. まとめ

- ☑ 利点
- ☑ 記憶に残る
- ☑ 使いやすい (いつ、どの授業、どういう目的、どう使う)
- ☑ 時間調整
- ☑ 修正可能